

【ユニット】 キャリアデザイン

【ユニットディレクター】

UD：永島 雅文（解剖学）

UD 補佐：森 茂久（医学教育センター） 柴崎 智美（医学教育学） 米岡 裕美（教養教育）
黒崎 亮（国セ 婦人科腫瘍科） 平田 幸子（脳神経外科） 高橋 美穂（医学教育センター）

【一般的な目標】

学年に応じた経験から、医師としての将来設計に必要な知識を得て、医師としての将来設計図、またライフイベントを予測した自分の将来設計図を描くことができる。経験を振り返ることを通して、医師には学習を生涯継続し、知識と技能を維持し続ける責務があることを説明できる。

【具体的な目標】

1. 勤務医、研究医、女性医師など医師の多様な将来像・ワークライフバランスについて説明できる。
2. 医学部の6年間の生活やその後の将来の医師像を踏まえ、1, 2年生合同ワークを通して、医学生として、医師として求められる行動について意見を述べるができる。
3. 自らの1年間の経験を振り返り、自らの成長と今後取り組むべき課題を言語化することができる。
4. ライフイベントを予測し、医師として、個人としての将来設計図を描くことができる。

【学習方法】

先輩医師のキャリアについて話を聴き、自らの将来について考える。また、1年生、2年生合同で、キャリアデザインインタビューに関する1年生の報告会を開催し、自らのキャリアについて考え、そのために求められる医学生の姿について意見交換する。質問等は、授業時間内に受け付ける。

1. 1年生、2年生合同で、KJ法を用いて、課題（例：「医師として働く上で重要だと思ったこと」「医師としての仕事をやりがいを持って続けるために、学生時代をどのように過ごすか」）に取り組む。
2. 医学教育センターニュースの記事を読み、医師のキャリアについて理解する。
3. 医学部2年生の時点における自らの将来設計図を描く。
4. この演習を振り返り、今後の医学生としての行動について考える。

【評価方法】

医師を目指す学生としてふさわしくない態度、行動が見られた場合には、評価の対象としない場合がある。

本ユニットは演習ユニットであり、75%以上の出席を求めている。やむを得ない理由以外の出席不良は、評価の対象とならないので、十分留意すること。

また、チームでの作業も多いため、積極的に参加することが求められる。参加態度、提出物、グループワークの成果を評価する。

【教科書】

- ◆ 指定しない

【参 考 書】

◆ 指定しない

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
キャリア1	12月23日	(月)	1	キャリアデザイン演習オリエンテーションと講話	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学)
キャリア2	12月23日	(月)	2	キャリアデザイン演習(個人演習)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科) 平田 (脳神経外科)
キャリア3	12月24日	(火)	1	キャリアデザイン演習(1, 2年合同ワーク)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科) 平田 (脳神経外科)
キャリア4	12月24日	(火)	2~3	キャリアデザイン演習(1, 2年合同ワーク)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育) 黒崎 (国七婦人科腫瘍科) 平田 (脳神経外科)
キャリア5	12月24日	(火)	4~5	キャリアデザイン演習(個人演習)	永島 (解剖学) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育)

【備 考】

キャリアデザイン演習については、12月23日のオリエンテーションの中で期間中の詳細、事前学習、課題について説明する。なお、全体の時間数が少ないため、出席状況を自ら把握し、出席不良にならない様に十分留意すること。キーワード：キャリアデザイン、ワークライフバランス

【ユニット】

キャリアデザイン

【ユニットディレクター】

永島 雅文 (解剖学)

【コンピテンス】

2. 基盤となる医学知識と問題対応能力
4. 自ら学ぶ姿勢

【マイルストーン】

- 2-(6). 医師としての将来設計図、またライフイベントを予測した自分の将来設計図を描くことができる。
- 4-(1). 医師には学習を生涯継続し、知識と技能を維持し続ける責務があることを説明できる。

【評価方法】

- 2-(6). レポート
- 4-(1). レポート(自分の将来設計図)

【補習および再評価の方法】

- 2-(6). レポートの再提出
- 4-(1). レポートの再提出